



## <ベトナム・リサーチ・特別レポート>

情報提供用資料

2020年3月11日

### ベトナムの空港インフラ整備

ベトナムでは経済成長に伴う航空需要の増加に対応するために、空港インフラの整備が急ピッチで進んでいる。現在、ベトナムには23の空港(総面積:13,321ha)がある(内、国際空港が10、国内空港が13)。地域別では南部に9空港、北部に7空港、中部に7空港がある。利用者は年々増加しており、2018年には6,320万人が利用している。貨物輸送量も増加傾向にあり、2018年には10.69億トンkmに達した。2030年に向けて合計28の空港(総面積:20,751ha)を整備することを目標としている(内、国際空港が13、国内線空港が15)。

#### ■南部の主要空港

・タンソンニャット空港(ホーチミン市):ベトナム最大規模の空港で、ホーチミン市の北西約8kmに位置する。旅客処理能力は2,800万人だが、この数年で航空旅客輸送量は急増していて、対応する旅客取扱施設等の整備が大きな課題になっている。2020年までに旅客処理能力を4,500万人に拡大する計画があるが、現在の進捗状況を見ると2~3年間遅れる可能性がある。市街地に近く住宅地に囲まれていることから、下記のロンタイン空港の完成が待たれる。

・ロンタイン空港(建設中):ホーチミン市の東、約35kmのドンナイ省ロンタイン地区に位置し、2025年の開港を予定している。滑走路4本、4つのターミナルを備えたハブ空港で、年間乗降客7,000万人を見込む。東南アジアで随一の近代的な空港で、近隣にはエアポートシティが建設される予定である。

#### ■北部の主要空港

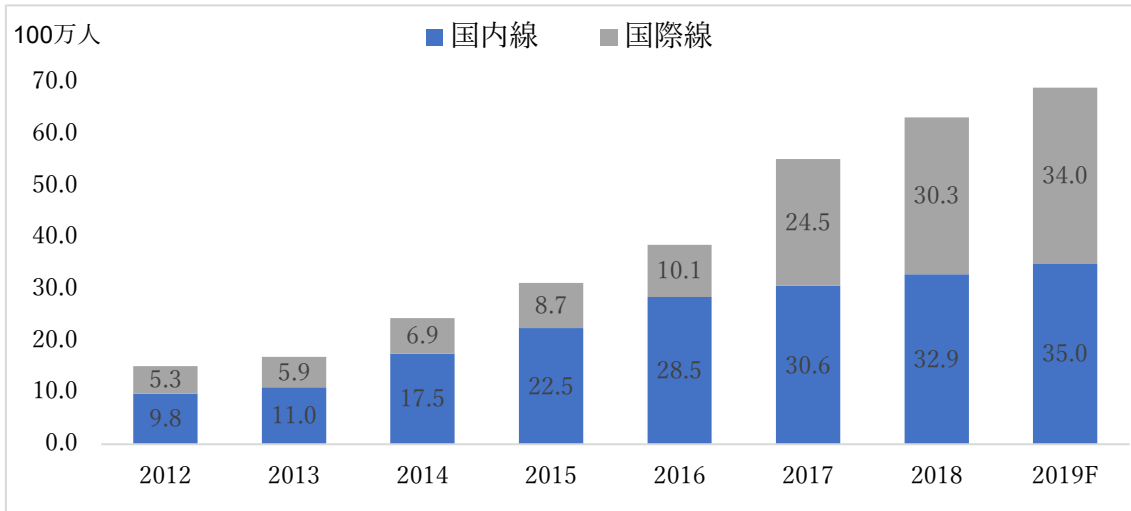
・ノイバイ空港(ハノイ):首都ハノイ都心部から北に約45kmの位置にある。1978年に開港した北部最大の空港である。日本のODAにより国際線専用の第2旅客ターミナルが開業し、旅客処理能力が全体で1,500万人から2,500万人に拡大した。首都圏でも航空旅客輸送量の急増に対応する旅客取扱施設等の整備が課題となっている。今後の利用者の増加に対応するために、第2旅客ターミナルの旅客処理能力を現在の1,000万人から1,500万人に拡大する計画が決定された。



■ 中部の主要空港

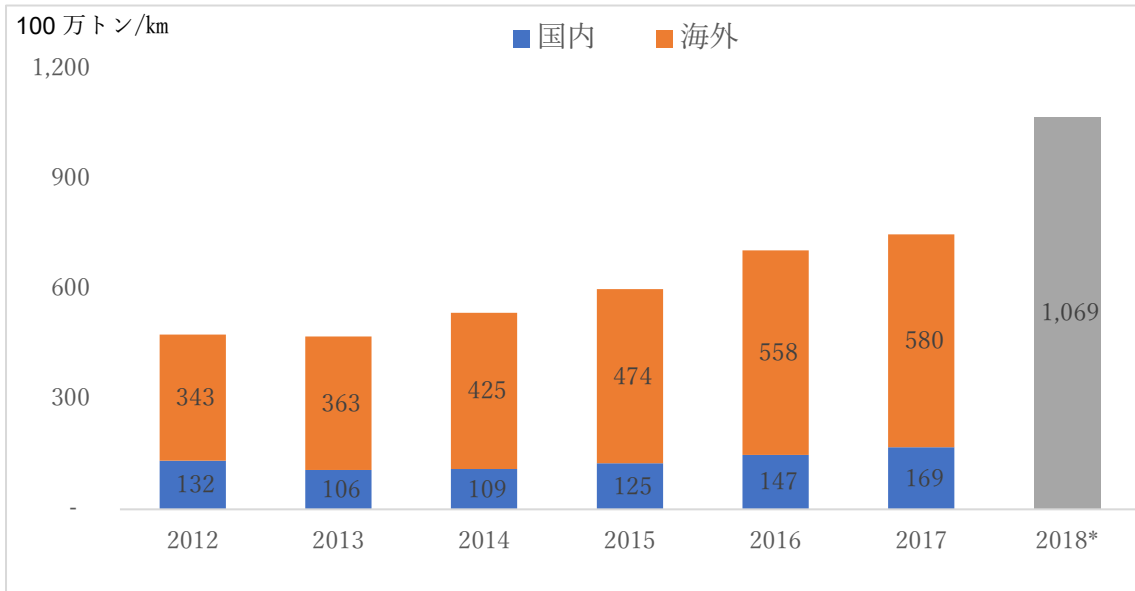
・ダナン空港(ダナン):ダナン中心部より北方約 2km の位置にある。2017 年に改築され最新鋭の空港に生まれ変わった。世界遺産の町ホイアンは南東約 30km にある。

[空港利用者数の推移]



出所: 国際航空運送協会(IATA)、アジア太平洋航空センター(CAPA)、国家空港業界開発計画

[輸送貨物量の推移]



出所: ベトナム統計総局、(\*)2018 年は合計概数



〔ロンタイン空港の完成予想図〕



出所: ベトナム民間航空局

【参考資料】ベトナム統計総局、国際航空運送協会、国際協力銀行、JICA の各 HP/資料